

新型コロナウイルス感染症対策 関連情報

市長から市民の皆様へのメッセージ

一皆の支え合いで市内の医療体制を守りましょう



令和3年3月6日

郡山市保健福祉部保健所総務課

担当：朝倉 陽一

TEL：024-924-2120

SDGs ターゲット 3.3 「伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する」

市民の皆様申し上げます。

報道等でご案内の通り、市内の医療機関で発生した新型コロナウイルス感染症のクラスターが拡大の一途をたどっております。

県内最大規模の病床数を抱える同病院は、2月21日に最初の感染者が確認されて以降、3月5日判明分までの感染者数は、市内にお住まいの方73人を含む96人となり、介護施設等でのクラスターを含む市内全体の感染者数も、わずか2週間で117人も急増しております。

同病院は、現時点で県内最大のクラスターとなっており、現在、県・県立医大・市保健所に加え、市内の医療機関等から派遣された感染症制御チームの皆様が、まさに不眠不休で、一刻も早い抑え込みに向け、最大限の御努力をいただいております。

現在、市内の医療機関では、救急病床ひっ迫・受診等の制限に伴い、現在、郡山医師会の各医療機関が、医師・スタッフの派遣や、入院患者等の転院受け入れに対応いただくなど、まさに「オール郡山」体制で、全力で、この難局に当たっていただいております。

市内における最初の新型コロナウイルス感染症確認から間もなく1年となりますが、この間、市内の医療機関・医療従事者の皆様は、大きな負担を強いられながらも細心の注意を払い、私たちの命と健康を守るため、最善を尽くしていただいております。

医療機関を利用されている市民の皆様におかれましても、どうか、この厳しい状況を御理解のうえ、御対応いただきたいと存じます。

さて、首都圏1都3県を対象とした、国の緊急事態宣言は、21日まで2週間延長されることとなりました。

それ以降の時期は、ちょうど小中学校が春休みを迎えたり、年度末の異動等で人の活動や往来が活発になる時期です。

人の往来が活発化すれば、また感染が再拡大する懸念もあります。

また、例年、3月・4月は救急患者が増加する傾向が見られますので、市内の医療体制を維持するためにも、まずは、今の状況を改善させなければなりません。

市民の皆様には、手洗い・マスク等の感染予防対策はもちろんのこと、ご自分の健康にいつも以上に留意され、ご自分の身を守るとともに、救急医療機関の負担軽減にご協力をお願いいたします。

併せて、必死に頑張っている医療従事者・福祉関係者・エッセンシャルワーカーの皆様

への誹謗・中傷や、差別的対応などは絶対にお止めいただき、感謝の念をもってお支えください。

市としまして、必要な措置を講じ、医療体制維持に最善を尽くしてまいります。

奇しくも、まもなく東日本大震災から10年を迎えますが、当時、電気も、水も、食料も、物資も、燃料も、情報も乏しい中、私たちは他人を思いやる気持ちと、お互いが少しずつ我慢しあうことで支えあい、大きな困難を乗り越えてまいりました。

この厳しい状況もまた、みんなで支えあう「互助」により、何とか乗り越えてまいりましょう。

皆様の御理解と御協力を、切にお願い申し上げます。

令和3年3月6日

郡山市長



今回の市長から市民の皆様へのメッセージ動画は、こちらからご覧いただけます。

<https://youtu.be/d2qTxCJFUtk>



なお、過去のメッセージは、郡山市 YouTube チャンネル
「新型コロナウイルス感染症関連」からご覧いただけます。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLt-e4wBiz2mCDC7c3VA_oFGndJ8V5YSb9

